宇和島市教育委員会会議録

令和6年9月定例会

令和6年9月27日開催

宇和島市教育委員会

宇和島市教育委員会 令和6年9月定例会 会議録

1. 開会日時 令和6年9月27日（金） 午後4時00分
2. 場 所 宇和島市役所本庁 801会議室
3. 出席者 教育長） 金瀬 聡
教育委員）木下 充卓、高山 俊治、浅井 敬司、
田村 裕子、中島 玲子
4. 欠席者 なし
5. 出席職員 教育部長 森田 孝嗣、教育総務課長 面川 啓之、
学校教育課長 中山 総大、生涯学習課長 杉浦 光信、
文化・スポーツ課長 笠松 美和、人権啓発課長 日出山 輝、
学校給食センター所長 二宮 貴紀、伊達博物館長 橋本 宏司、
教育総務課課長補佐 稲田 雄一郎、同課総務係長 島瀬 孫幸、
同課総務係主任 児玉 泰宗
6. 付議事件
報告第17号 専決処分した事案の承認について
(令和6年度教育費9月補正予算の要求について)
7. 説明及び報告事項
 - (1) 宇和島市外国語指導助手の住宅貸与に関する要綱の一部を改正する訓令について
 - (2) 宇和島市教育委員会地域おこし協力隊設置要綱要綱の制定について
 - (3) 伊達博物館改築事業の進捗状況について
8. 会議概要
 - (1) 会議成立の報告
○教育総務課長
教育長及び在任委員の全員が出席されています。定足数を満たしていますので、本会議は成立していることをご報告いたします。
それでは、ここからの進行は教育長、宜しくお願いいたします。
 - (2) 開会宣言・教育長報告（午後4時00分）

◎教育長

それでは、ただいまから9月定例教育委員会会議を開会いたします。
教育長報告については、2ページ以降に記載しているとおりです。
退任にかかる挨拶は、後ほど行いますので、早速議事に入ります。

(3) 付議事件

◎教育長

それでは本日の議事に入ります。
報告第17号について、事務局、説明をお願いします。

○教育総務課長

5ページをご覧ください、
報告第17号、専決処分した事件の承認についてです。
内容は、令和6年度教育費9月補正予算の要求について、専決第17号で専決処分した内容です。

6ページをご覧ください、
まず、歳出、教育諸事業では、6月14日に受け入れた、市指定文化財『旧毛利家
庄屋住宅』の維持管理の目的にいただいた寄附金10,000千円を財源として、同額を
教育文化スポーツ振興基金へ積立てるものです。

小学校管理事業の備品購入費6,400千円は、今後所要の備品購入費不足額の計上
です。

小学校統合準備事業は、令和7年4月統合にむけた結出小学校の閉校関連の準備
経費として、記念品料251千円、消耗品50千円と、記念誌、記念碑、動画作成の委
託料計2,230千円です。

続いて、吉田統合小学校整備事業は、愛生寮付近に路線バスの停留所2箇所を設
置する整備工事費2,400千円です。

中学校管理事業の備品購入費4,400千円は、今後所要の備品購入費不足額の計上
です。

○学校教育課長

続きまして、学校教育課所管の予算についてご説明します。

まずは、歳出予算が記載されている7ページをご覧ください。

項が「教育総務費」、目が「教育指導費」になりますが、うち、教育指導事業では、
児童交流経費として、日振島小の児童が遊子小への移動費用として100千円、結出
小の児童が遊子小への移動費用として30千円、合わせて130千円の通信運搬費を計
上しています。

次に、ICT教育推進事業ですが、一人1台端末に係る消耗品費を400千円を計
上する一方で、ソフトウェア使用料を27,852千円、減額しています。

ソフトウェア使用料の減額理由ですが、9月から導入したAIドリルの運営会社
が国に申請していた働き方改革支援に関する補助金の採択が決定されました。補助

対象経費の中には、本市が支払予定であったソフトウェア利用料も含まれていることから、関連予算を減額したものです。

最後に、校内サポートルーム運営事業です。

ここでは、城東中学校内にある校内サポートルームに設置予定のオンライン授業用機器に係る経費を計上しています。

通信運搬費では、モバイルルーター使用料として8千円、ソフトウェア使用料として101千円、機器本体の購入費として841千円を計上しています。

1ページ戻って6ページをご覧ください。

歳入予算についてご説明します。

先程ご説明した校内サポートルーム運営事業は、歳出予算の総額が950千円になりますが、事業費の2分の1にあたる475千円が、デジタル田園都市国家構想交付金として交付されます。

学校教育課所管の予算に係る説明は以上です。

○文化・スポーツ課長

続いて7ページをご覧ください。

文化・スポーツ課分の補正予算についてご説明します。

歳入、国庫支出金は、史跡宇和島城保存整備事業に対する補助金として11,500千円、寄附金として、10,000千円の合計21,500千円を計上しています。この寄附金は旧毛利家庄屋住宅の寄附にあわせ、今後の維持管理に役立ててほしいと関係者の方よりご寄付いただいたものです。

8ページに歳出として、総額45,494千円を計上しています。

1つ目は、「城山管理事業」は、松山城の土砂災害を受け、緊急点検を行った結果を踏まえ、宇和島城の土砂災害や落石事故の未然防止対策を行うため、管理道の修繕料として1,000千円、変位計の設置手数料として700千円、仮設の落石防護柵を設置するための工事請負費として8,000千円、合計9,700千円を計上しています。

「史跡宇和島城保存整備事業」では、4月の地震で発生した本丸の地割れ対策として、要因の一つである石垣の崩落抑制のため、石垣を樹脂ネットで覆う工事の請負費として23,000千円を計上しています。

続いて、「文化振興事業」では、小学6年生を対象に実施する劇団四季「こころの劇場」ですが、地震の影響を受け、会場が南予文化会館から宇和文化会館へ変更することとなったことにより、変動した会場使用料やバス委託料などの費用として合計585千円を計上しています。

「地域おこし協力隊事業」としては、重要伝統的建造物群保存地区に選定された岩松地区に地域おこし協力隊を導入するための費用として合計1,909千円を計上しています。

「体育施設管理事業」は、令和7年2月完成、検査後供用開始予定の吉田公園野球場の備品やスポーツトラクターを整備する費用として10,300千円を計上しています。

す。

○伊達博物館長

9ページをご覧ください、
続きまして、伊達博物館分です。

伊達博物館管理事業は、老朽化により故障した、展示室系統の空調設備の修繕、及び博物館の正門の取替修繕に係る経費、2,500千円の計上です。

◎教育長

事務局からの説明が終わりました。

学校教育課長、ソフトウェア使用料のA Iドリルについてですが、これは「すららドリル」ですか。

○学校教育課長

はい。

◎教育長

これまで使用していた「eライブラリ」とどのような違いがあるか紹介していただけますか。

○学校教育課長

これまで小中学校では、「デジタルeライブラリ」というデジタルドリルを導入していました。数年間使用しましたので、一度ここで見直しを図ろうと、昨年度末に数名の選考委員が集まって、何度か検討を行いました。

そこで、今回はさらに動画の解説機能が優れており、子どもの回答をA Iが学んで、苦手な部分を繰り返し出してくれる機能が充実したものとして、「すららドリル」を選んだという経緯です。

◎教育長

何年生から何年生まで使えますか。

○学校教育課長

小学校1年生から中学校3年生までです。

◎教育長

高校は入っていませんか。

○学校教育課長

高校は入っていません。

◎教育長

今回導入したA Iドリルですが、実際どこまで子どもたちが使ってくれるか非常に興味を持っています。そういたしますのも、デジタルドリル上では、例えば4年生の児童がどんどん進んで、中学2年生・3年生のところまでいこうと思えば、自分に合った形でレクチャーを受けられます。オンライン上で、その子その子の興味関心やレベルに応じた、「個別最適」の学習環境が整いつつある。完成度の高さについては不透明ですが、これからは、意欲、好奇心をもって問いを立てられる子はどんどん

ん自分で前に進めるようになってくるとすれば、逆に教室において、どこまでリアルの中の「個別最適」ができるようになるのか。ここはティーチが中心の指導パラダイムから学習者がどこまで何を学べるようになったかという、学習パラダイムへの大きな転換期にあるという印象を持っています。次期学習指導要領の改訂に向けても、そういった議論がされているように思います。

この秋には文部科学大臣の諮問が出ると言われていますので、その中身を非常に興味をもって見ていきたいと思っています。そのような話を、校長会でもさせていただきました。デジタルツールはどんどん発展していく。その中で、デジタルでは扱えないようなことが教室の中で展開されていく部分が望まれると思っています。

他ございますでしょうか。

◎中島委員

質問ではありませんが、9月から「すららドリル」が使えるようになったと思います。子どもが家で興奮して使用していましたが、「以前のものは答えが選択制だったので、当てずっぽうに押しても正解を繰り返して進んでいった。今回のドリルは記入式になっていて、きちんとわかっていないと進めない。そして継続してやっていくことに興味をそそるような仕組みがあり、大変興奮して取り組んでいる。」と聞いています。子どもからの話ですが、これがいつまで続くか、これからもいろいろと話を聞いてみたいと思っています。

◎教育長

学校教育課長、何かコメントはありますか。

○学校教育課長

これから、もっとご家庭でも使っていただけるように、本日校長会でも呼びかけを行いました。

◎教育長

他ございますでしょうか。

◎木下委員

教育総務課の、吉田統合小学校のバスの停留所の整備事業ですが、停留所を整備するのは、教育委員会が支払うのですか。2箇所と聞きましたが、教えていただけますか。

○教育総務課長

まず1箇所は、旧愛生寮の敷地内で、市の所有地となり、管理者が土地造成を行いますので、公費で整備します。もう1箇所は、橋のたもと付近ですが、バスは子どもたちを降ろすため、左側に停車する必要があります。吉田町図書館から喜佐方方面に向かって走行するなかで左側となると、花壇のある路側帯辺りにバス停を整備しようと考えています。このあたりは市道のため市の所有地となり、公費で撤去作業やアスファルトで塗り直し等を行う必要がありますので、整備する予算として合計2,400千円を計上している状況です。

◎木下委員

わかりました。路線バスのバス停であるため、運行会社の宇和島自動車が負担するのかと思いましたが、どちらも市の所有地であり、公費で整備するということですね。子どもたちの安全が一番ですので、本当に安全に路線バスが停車できる停留所にしていただけたらと思います。

◎教育長

他ございますでしょうか。

それでは、報告第 17 号について採決に移ります。

報告どおり承認することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員で報告第 17 号は報告どおり承認します。

(4) 説明及び報告事項

◎教育長

次に、“説明及び報告事項”に移ります。(1) 宇和島市外国語指導助手の住宅貸与に関する要綱の一部を改正する訓令について、事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長

10 ページをご覧ください。

教委訓令第 9 号「宇和島市外国語指導助手の住宅貸与に関する要綱の一部改正」についてご説明します。

先ず、提案理由ですが、外国語指導助手、いわゆる“ALT”と呼ばれる外国の方々については、一般財団法人自治体国際化協会が実施する「語学指導等を行う外国青年招致事業」、通称「JETプログラム」に応募したのち、宇和島市教育委員会に派遣されています。

このJETプログラムの募集条件では、配偶者同伴での来日が認められていることや、来日後に結婚する場合も想定されることから、本市に派遣されている間、配偶者や子どもなど、家族と同居することが十分考えられます。このような中、現在の要綱上では「住宅に他の者を居住させることができない」という趣旨の規定があることから、この部分を削除し、家族との同居が可能となるようにするものです。

以上です。

◎教育長

説明が終わりました。

ご質問等ございましたら、お願いいたします。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは（２）宇和島市教育委員会地域おこし協力隊設置要綱要綱の制定について、事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長

12 ページをご覧ください、

教委訓令第 8 号として「宇和島市教育委員会地域おこし協力隊設置要綱」を制定したご報告です。

内容は、国の「地域おこし協力隊推進要綱」に基づき、宇和島市教育委員会地域おこし協力隊を設置することについて、必要な事項を定めるもので 9 月 3 日に施行したものです。

現状、協力隊の取扱いは、企画課所管要綱で運用をしていますが、今回、重要伝統的建造物群保存地区に選定された岩松地区に限定した地域おこし協力隊を募集しようとするので、所管明確化のため、任命権者である教育委員会において制定しようとするものです。内容は、企画課所管のものと同様です。

◎教育長

説明が終わりました。

ご質問等ございましたら、お願いいたします。

◎田村委員

地域おこし協力隊におかれては、ご自分の技術や能力を十分に活かす活動をしていただけると、それが住民の方たちの大きな刺激になりますので、行政ではなかなかできないことを柔軟にやっていただきたいと思います。

これから地域おこし協力隊の募集がかかりますが、そのあと実際の現場で活動されるまでの大まかな流れはどのようになりますか。

○教育総務課長

手続き的なご説明として、まず、予算が議決されましたので、ホームページ等で公募します。応募がありましたら、試験を行います。

地域おこし協力隊の公募については、条件として試験の際に宇和島に来ていただきます。実際に現地で触れてもらい、どのような地域か理解してもらうために、様々な場所にご案内します。担当課が岩松地区の町並みや、中心となって活動されている方を紹介したうえで試験に臨むようになっており、最終的には選考を行い、採用者を決定するといった流れになるのではないかと考えています。

◎教育長

他ございますでしょうか。

◎全委員

ー特に質問、意見等なしー

◎教育長

それでは（３）伊達博物館改築事業の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

○伊達博物館長

16 ページをお願いします。

伊達博物館改築事業にかかる、工事費、債務負担行為限度額、今後のスケジュールについて、ご説明します。

それでは（１）の表をご覧ください。建設工事費については、これまで、上段の緑色の部分、3,850,000 千円と説明しておりました。再入札の公告の時期を 11 月と想定しており、まず、最新単価への置き換えと見積の再収集を行って現時点での価格を算出したうえで、今後の上昇を加味して、青色のところ、入札公告時点での価格を、概算で 4,200,000 千円と見込んでいます。

続いて、（２）債務負担行為の限度額についてご説明します。

さきほど、入札公告時点で 4,200,000 千円とご説明しましたが、契約締結後において、物価スライド条項や設計変更などへの対応には、予算の確保が必要で、今回の入札不調時のヒアリングにおいて、業者も、契約締結後を含めての十分な予算の確保を求めていることがわかりましたので、これらを最大限見込み 4,500,000 千円としています。

債務負担行為予算といたしましては、建設工事費の増に伴いまして、600,000 千円増の 5,390,000 千円となり、この変更について、9 月の市議会定例会に補正予算として計上し、昨日、26 日にご承認いただきました。

次に、（３）スケジュールについては、今後、10 月の最新単価への置き換え作業後、11 月に入札公告、12 月に開札、落札されれば、仮契約となります。その後、市議会にて、契約議案の議決をいただきましたら、本契約、着工となり、新博物館の開館は、令和 10 年春を見込んでいます。

◎教育長

説明が終わりました。

ご質問等ございましたら、お願いいたします。

◎木下委員

昨日の議会でも、かなりの僅差で議決されたようです。その中で議員からも出ていましたが、伊達博物館の建設に対する補助金の流れについて、もう少しわかりやすく説明していただけないでしょうか。

○教育部長

まずは、国からの支援が、今どの程度受けられる見込みになっているかお話しします。

まず補助金として、『都市再生整備事業補助金』があります。

これは純然たる補助金です。これが事業費に対して、どの程度全体支援いただいているかといいますと、宇和島市は 80%程度を補助対象として見ていただいています。

都市再生整備事業の対象といいますと、伊達博物館の設計や建設、展示設計、移

転のための費用、今の博物館を取り壊す費用、取り壊した後の公園整備の費用。そして畑枝川のポケットパークがありますが、そちらも畑枝川の改築事業として認められて対象事業となっていますので、伊達博物館だけのことではありませんが、いわゆるその都市再生整備事業という補助金をいただいて、市全体の該当する事業を様々行っています。

その全体事業に対して、宇和島市は80%程度認めてもらっていますが、他の自治体は60%程度しか認めてもらっていないので、当市は非常に優遇されています。これが補助金です。

もう一つが合併特例債です。

いわゆる借金、起債ですが、起債対象の事業費に対して95%借入ができて、そのうち70%は普通交付税でお金が返ってくる仕組みになっています。

これらをトータルしますと、現在の伊達博物館に関する全体事業費に対して、大体76%程度は、国からの支援で賄えることができます。

そうすると、伊達博物館の全体事業費の宇和島市の本当の負担額は1,400,000千円程度で済む仕組みになっています。

これを延期したらどうなるかという質問が議会でなされましたが、その場合の影響として考えられるのは、まず都市再生整備事業補助金は、コロナ明け以降、これを活用して事業を行いたい自治体が非常に増えています。そうしますと、今、宇和島市が80%程度優遇されているのが、おそらくそこまで見てもらえない可能性が非常に高くなります。これが一つ。

そしてもう一つ、合併特例債が、令和7年度末をもって廃止になりますので、延期になると活用できなくなり、他の財源を使ったとしても特例債ほど有利な財源はなかなか現状では見当たりません。今、全体事業費に対して76%程度の国の支援が受けられているのが、それだけの支援を受けられなくなります。

その一方で物価は上がっています。建設資材の上昇が少し落ち着いているのではという声もありますが、人件費はおそらく上がっていきますので、全体事業費が下がっていくことは想像できない。その一方で補助金、国からの支援は減るとなりますと、やはり市の負担が下がるというのはまず考えられない。そのため、このタイミングで予算化をして事業に着手することがベストだと判断し、今回、債務負担行為の600,000千円増額の要求を行いました。

◎木下委員

伊達博物館に関しては、いろいろと反対の意見もあるようですが、このような国からの補助があることを、市民の皆様にはわかりやすく説明をしていただけると納得されるのではないかと思います。

私も昨日の議会の採決の数が気になってしまいましたが、今日、説明を聞いて補助金など国からの支援の流れ、着工が遅れた場合のデメリット等も知ることができましたので、様々な機会を通じて、私たち委員も、市民の皆様には伝えていきたいと

思います。

◎教育長

今の教育部長からの説明も含めてご理解いただけたらと思います。
他ございますでしょうか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

(5) その他

◎教育長

次に、“その他”に移ります。
ご意見等ありませんか。

○文化・スポーツ課長

17 ページをご覧ください。

「宇和島城天守ライトアップ設備改修に関するクラウドファンディング」についてご説明します。

現在の宇和島城のライトアップ設備は、設置から 20 年を経過しており、修理等も困難になっていることから、多色 LED 照明に改修するために、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施し、広く寄附を募ることとしました。

目標額は、2,000 千円です。寄附額は 10 千円、20 千円、30 千円、100 千円の 4 コースで返礼品を設定しています。ふるさと納税の対象ですので制度上、宇和島市民の方からの寄附については、受付はできますが、返礼品はお送りできないこととなっています。

◎教育長

説明が終わりました。
ご質問等ございましたら、お願いいたします。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

そのほかご意見等あればお願いします。

○伊達博物館長

「伊達博物館開館 50 周年記念特別展について」ご説明します。
追加資料 1 ページ目をお願いします。

開館 50 周年記念の特別展は、10 月 12 日から開催し、「宇和島城」をテーマとしています。2 ページが、その内容で、宇和島城の変遷と共に、天下人豊臣秀吉・徳川家康が手がけた伏見城や他の四国現存天守など、城を通した様々な「繋がり」や「ストーリー」を紹介していきます。

3 ページ、4 ページが、関連事業の「歴史講演会」についてです。

10月26日に、「お城博士」としてメディアでご活躍中の千田嘉博氏と、新伊達博物館の設計を行った隈研吾氏を講師としてお招きし、「城かたる一宇和島城の歴史と未来」と題した講演会を開催します。翌日には、「千田先生と行く宇和島城歩き」イベントも開催します。

5ページをお願いします。

10月1日から、宇和島城天守、伊達博物館、天赦園の周遊性向上を目的に、3館共通券「宇和島伊達物語」を、700円で販売します。併せて、5色を重ねて捺すことで宇和島城の絵柄が完成する「重ね捺しスタンプラリー」をこの3施設に設置します。

6ページをお願いします。

10月12日から、開館50周年を記念したオリジナル御城印を300円で販売します。デザインは、愛媛県出身のイラストレーター、茂本ヒデキチ氏です。

◎教育長

説明が終わりました。

ご質問等ございましたら、お願いいたします。

3館共通券は、長年の懸案事項でしたが、様々な問題をクリアし、やっと実現にこぎつけられて喜ばしい限りです。訪れてくださった方に3点セットで見ただけだと本当にありがたいと思います。

そして隈研吾氏もいらっしゃいますし、伊達博物館の改築事業、気運を高めていくことにも繋げていきたいと思います。

他ございますでしょうか。

◎高山委員

体育館の改修状況の説明をお願いします。

○文化・スポーツ課長

総合体育館の改修状況ですね。業者が決定して、改修の工事に入るところです。今現在のスケジュールとしては、2月中旬に工事完了予定ですが、そのあと検査等もありますので、正式にオープンできる時期はまだはっきりと申し上げることはできませんが、来年度当初からは運用できるのではと考えています。

◎高山委員

来年度の当初ですね。市長杯の卓球大会が2月に開催予定なのですが、難しそうですね。

○文化・スポーツ課長

もう少し早まる可能性もありますが、工事完成後の検査期間がありますので、今の段階で「何月から」とははっきり申し上げることはできません。

◎教育長

他ございますでしょうか。

◎田村委員

「令和7年 宇和島市二十歳のつどい」についてですが、今年度は南予文化会館が使用できないので、三間のコスモスホールで開催することをホームページや広報で拝見しましたが、会場が少し離れるので、ご家庭によっては着付けの時間を早めたり、送迎の時間を工夫されると思います。

今後、実行委員会等で内容について話し合うと思いますが、今の段階で、今年度取りやめるものや変更があるものがあれば教えていただきたいのと、併せて南予文化会館ではあった保護者の観覧席は、コスモスホールでも確保していただけるのでしょうか。

○生涯学習課長

ご質問の中にありましたように、場所については南予文化会館からコスモスホールに移転して、開催する予定ですが、開式時間を含め、昨年度までできていたことができなくなるものは特にありません。

もう一点、保護者席についても昨年度までと同様に確保する予定ですが、対象者と同じ一般座席になるか、壁の上段部に見下ろすようなスペースがありますが、そちらになるかは、座席数や観覧の希望者数等から判断したいと思います。

◎教育長

他ございますでしょうか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

令和6年9月27日をもって、16年にわたりお勤めいただいた高山委員が退任されます。一言ご挨拶をお願いいたします。

◎高山委員

－退任の挨拶を行う。－

◎教育長

それでは私もこの9月27日をもって退任という運びとなりましたので、ご挨拶をさせていただきたいと思います。

－退任の挨拶を行う。－

(6) 閉会宣言（午後4時50分）

◎教育長

それでは以上もちまして、9月定例の教育委員会会議を閉会いたします。